

日系ブラジル子弟のための 日本語教科書に見られるポルトガル語借用

伊志嶺 安 博

1. はじめに

1.1 日系ブラジル人

ブラジルにおける日系社会のことは、日系ブラジル人の間では通称「日系コロニア(*colonia*)」と呼ばれる。国際交流基金(2007)によると、2007年現在の日系コロニアにおける日系ブラジル人数は140万人に上る。

森(2006)では戦前1908年から1941年に約23万人、横川(1995)では戦後1952年から1993年に約5万4千人が日本からブラジルへ渡航したとされ、帰国者があったとしても、この百年で五倍の人口増加を示していることになる。世代は三世・四世になり、多民族の移民国家であるブラジルにおいて混血も見られる。

彼らにとって日本語教育は、継承する言語学習から外国語学習としての言語学習へと変化していると言われている。日本人移民は、幼少時での渡航を除けば、日本で教育を受けていたので、彼らの子弟にも日本の教育を受けることを望む者が多かった。また、入植先に学校がなく日本人移民が学校を作った場合には、当然のように日本語で日本の教育内容が教えられた。それは、日本人移民のほとんどが移民開始当時出稼ぎ感覚でいたため、日本への帰国を考えていたからである。しかし、日本人移民は日系ブラジル人への同化過程¹の中でポルトガル語は学習言語から使用言語となり、一方子弟たちにとってポルトガル語は母語となり、日本語は使用言語から学習言語へと移行していった。

1.2 ブラジルにおける日本語教科書

本研究では、ブラジルで作成された日本語教科書に注目して、ブラジルで学習される日本語語彙、特にポルトガル語を借用したカタカナ語の特徴を明らかにする。これは、日系ブラジル人の同化過程における使用言語の変容を、文字資料(教科書)から探るものである。

ブラジルでは、第二次世界大戦前に日本人子弟のための教科書としてブラジル日本人教育普及会(1936-37g)、戦後の混乱時の後に日伯文化普及会(1961a-78c)²が編纂された。しかし1980年代からは、現在に続く外国語教育教材としての教科書が編纂されてきた。各日本語学校で編纂されることもあるが、連絡機関であるブラジル日本語センターなどでも中南米やブラジルの学習者用に日本語学習用教材³が作成されている。

特に、日伯文化普及会(1961a-78c)には日本人子弟教育と外国語教育のいずれを目指していたのかをうかがい知る情報が記されていると考えられる。

2. 先行研究

2.1 ポルトガル語借用について

野元(1969)はポルトガル語が借用されたブラジルの日本語の特異性を指摘し、児童の作文を例を挙げ、標準的な日本語による教育の必要性を述べている。

「トマテがいろづいて、トマテ取りが始まりますと、カミニョンに一ぱいのったパンニャドールが出かけます。畑に着くとセスタを持ってちらばり、道につみあげたあきばこに、つぎつぎにシエーユにしていきます。……」(高荻幸子さん 10歳)は、「トマトがいろづいて、トマト取りが始まりますと、トラックに一ぱいのったつみとる人が出かけます。畑に着くとかごを持ってちらばり、道につみあげたあきばこに、つぎつぎに一ぱいにしていきます。……」でいいはずだ。(pp. 69-70)

山東(2003)は「クレオールといった言語を形成しているというよりは、むしろ混成語(jargon)の状態に近い」と指摘し、当時の日本語教育の問題を鑑み「早い時期から日系一世以降の継承は困難であるという予想がなされていた」と述べている。

また、山東(2005)は日系三世になると「語彙借用のレベルを超えて、ポルトガル語との混用という段階」が現れると、工藤(2004, p446)からの会話例を挙げ、述べている。

おじいちゃん、お父さんの お父さんはね、[↑]、あの一 早く 亡くなったよね[↑]。Acho que (私は、思う) ele(彼)が、3歳ぐらいーだったかな? Meu avô (私のおじいさん)、／／お父さん／…。(p. 71)

その上で、「現在では二世以降においても、デカセギ経験などにより、先に概観した『コロニア語⁴』論のものとは異なる、新たな『コロニア語』が形成されている」と見据え、「『コロニア語』とは日系移民社会のエスノグラフィそのもの」とし、課題として「日系社会における日本語教科書編纂事業の教育史的位位置とその意味」を挙げている。

これらからは、日本人移民や二世は日本語コミュニケーションにポルトガル語借用語を用い、三世などは日本語とポルトガル語の混用があると区別できる。

2.2 語彙・形態調査

ポルトガル語借用の語彙調査には、比嘉(1982)の付録「ブラジルの日本語で使用されている外来語の語彙表」がある。分類と調査語彙数は、次の29分類・502語である。

呼称(7語)、人間関係(37語)、職業(27語)、農業関係者(12語)、人種・民族(20語)、病気(4語)、衣服(11語)、宝石(6語)、家・家具・道具(23語)、食品・野菜・果物(36語)、食品・穀物・芋類(13語)、食品・魚・肉・乳製品(12語)、食品・料理(14語)、食品・デザート・菓子(4語)、食品・飲み物(11語)、農業・農作業(4語)、農業・農地(16語)、農業・農具(15語)、農業・農作物(5語)、動物(21語)、植物(10語)、政治(5語)、経済(25語)、社会(14語)、社会生活(25語)、運輸(10語)、工業(6語)、動詞(24語)、修飾語(24語)、数量・単位(15語)、時(16語)、定型表現(30語)

ポルトガル語借用を言語学の観点で捕らえようとしたものには、まず野元(1969)は、音声、アクセント、語彙、文法、表現法、ブラジルの日本語の将来の六つの観点でポルトガル語からの借用語彙を捉えながら、戦争による日本語教育の絶望的状况と「日本精神」を涵養する精神主義がブラジル人である二世・三世を日本語から遠ざけたと述べている。

一方、久山(2000)は戦後移住の日本人定住者(一世)のポルトガル語に注目し、借用の形態を音声音韻的統合、形態的統合、統語的統合、混種語・翻訳借用・借用シフト、借用語カテゴリーの面から捉え、ポルトガル語借用と外来語の相違点を六点挙げている。

- 1) 音声音韻上のゆれが多く生ずる。
- 2) 動詞の借用はポルトガル語の動詞の不定形にではなく、三人称単数形に日本語のサ変動詞「する」を付加する。
- 3) 副詞の借用において、「-に」を付加せず借用する場合もある。
- 4) 借用が幅広い文法的範疇に及ぶ。(感動詞を多く借用する)
- 5) 混種語、翻訳借用、借用シフトが少ない。
- 6) 基本語彙にまで借用が及ぶ。

また、ポルトガル語借用の運用面を感動詞借用、対人関係による借用、比喩的借用の面から捉え、会話がより快活に、表現豊かに行えるよう、加えて心理的ギャップを縮める目的で使用されていると述べている。

以上、これまでの研究で日系ブラジル人の日本語使用におけるポルトガル語借用は音声言語情報が主な対象になっている。対象者も不特定多数の日系ブラジル人や戦後移民一世であるため、日系ブラジル人の同化過程における縦断的言語使用には言及がなかった。

本研究はポルトガル語借用の文字情報の中でも、日系ブラジル人にとって高度な日本語能力が必要で情報収集が目的である邦字(日本語)新聞の記事ではなく、後世代や外国人に知識を伝えるための日本語学習で使用される日本語教科書に注目することより、日系ブラジル人同化過程の使用言語の変遷、ブラジルにおける日本語使用の特徴、加えてその意図を明らかにしたい。

3. ブラジルの日本語教科書に見られるポルトガル語借用語

3.1 教科書別ポルトガル語借用語

戦前の日本語教科書のブラジル日本人教育普及会(1936)では、ポルトガル語借用語として認められたのは、カタカタ表記語彙の「エンシャーダ(=鋏)」(p. 28)の一語のみであった。

一方、戦後の日本語教科書の日伯文化普及会(1961a-78c)では、ポルトガル語借用語としては、カタカタ表記語彙数 143 語(異なり語数)と漢字仮名混じり表記語彙数 6 語(異なり語数)が確認できた。

しかし、現在の日本語教科書では、次のような考え方が教科書編纂の際の基本姿勢になっている。

「チャンポン語は絶対使うな」

- ① 名詞だけ仲介語を使うようなチャンポン語(「先生は、あのサーラでウマオーラ、アウラする」など)は絶対に使わないでください。
- ② 日本語で、導入するとすぐに仲介語で説明する方法(「座ってください, Sentem-se, por favor!」「立ってください, Levante-se, por favor!」)も絶対避けてください。

日本語普及センター教科書編集委員会(1990)p. III

つまり、戦前は日本人子弟に対する教育、戦後は日系ブラジル人に対する教育、現代では外国人としてのブラジル人に対する教育として、母語から継承語へ、そして外国語教育へと日本語教育は変化してきたと言える。

3.2 借用の形態

ポルトガル語借用が使用された戦後教科書における借用の形態を先行研究の分類を基準にして比較する。(参考:表1「戦後教科書の巻別出現語彙頻度表」)

3.2.1 音声音韻的統合

久山(2000)ではポルトガル語は「開音節であるため、英語と比べ、音韻的統合は容易である」と、ポルトガル語借用の容易さを指摘している。音声面では借用が容易であるが、表記面では「ゆれ⁵」が確認できた。

使用記号: サンパウロ(2) / サンパウロ(2) / サン=パウロ(12) / サン・パウロ(15), ジョゼー=ボニファシオ / ジョゼー・ボニファシオ(1), テアトロ=ムニシパル(1) / テアトロ・ムニシパル(1), ドン=ペードロ(9) / ドン・ペードロ(3), パウ=ブラジル(2) / パウ・ブラジル(1), ミナス=ゼライス(7) / ミナス・ゼライス(1), ルイス=ガマ(2) / ルイス・ガマ(1)

長音: カフェ(1) / カフェー(4) / コーヒー(3)

語分割: サンパウロ(2) / サンパウロ(2) / サン=パウロ(12) / サン・パウロ(15)

半母音・母音: ダリヤ(9) / ダリア(1)

発音表記: カフェ(1) / カフェー(4) / コーヒー(3), トマテ(6) / トマト(1)

促音: プラサ・ダ・セー(1) / プラッサ・ダ・セー(1)

() 内は出現回数

3.2.2 形態的統合

日本語教科書におけるポルトガル語借用は名詞が主であった。動詞・形容詞・副詞・感動詞はなく、慣用句では「サウジ(=お大事に)」のみ確認できた。

3.2.3 統語的統合

日本語教科書であるため、日本語のシンタックスである。

3.2.4 混種語・翻訳借用・借用シフト

混種語として、次の二つの形態が確認できた。

日本語+ポルトガル語: 日系コロニア

ポルトガル語+日本語: カルナウバ椰子, サッペ屋根, シネマ館, ポン窯,
ボン食い競走

3.3 借用語カテゴリー

比嘉(1982)による分類で、戦後教科書で採用されたポルトガル語借用語彙をしてみると、家具・道具、動物、植物、社会などの語彙が多く、農業関係の語彙も採用されていることから、農地移住子弟に対する「社会生活用語よりもコロニアの学校で知識を学ぶ」子弟への配慮が認められる。

＜比嘉分類の項目＞（重複語数；未収語数／出現語数）

呼称(0;0/0)，人間関係(2;0/2)，職業(0;0/0)，農業関係者(1;0/1)，人種・民族(2;0/2)，病気(0;2/2)，衣服(1;3/4)，宝石(0;0/0)，家・家具・道具(2;10/12)，食品・野菜・果物(6;1/7)，食品・穀物・芋類(4;1/5)，食品・魚・肉・乳製品(1;1/2)，食品・料理(0;1/1)，食品・デザート・菓子(1;0/1)，食品・飲み物(2;0/2)，農業・農作業(0;1/1)，農業・農地(1;1/2)，農業・農具(3;2/5)，農業・農作物(1;1/2)，動物(12;24/36)，植物(4;6/10)，政治(0;1/1)，経済(4;4/8)，社会(0;4/4)，社会生活(3;6/9)，運輸(2;4/6)，工業(0;0/0)，動詞(0;0/0)，修飾語(0;1/1)，数量・単位(0;1/1)，時(0;0/0)，定型表現(0;1/1)

＜比嘉分類以外の項目＞

スポーツ(0;13/13)，歴史(0;3/3)，自然(0;1/1)，文房具・玩具(0;2/2)

上記のように、比嘉分類以外に歴史や自然という知識領域、スポーツや文房具・玩具などの学校生活での使用語彙などが採用されていることも子弟教育に対する配慮だと考えられる。

3.4 漢字仮名混じり語彙

ポルトガル語借用とは別に、ある限られた生活共同体で使用される語、通常の日本語使用には見られない語が確認できた。

生活共同体内使用語：

組合，会館，入植祭，天主様，演芸会，相談会，製材所，^{ようきん}養蚕小屋の棟

上げ，日本館，大農式，^{いんぎょ}青雉，青年会，青年会館

通常見られない語：

ざっ作地，雇い人，本田君の姉さん，青年たち，連邦都

ポルトガル語借用は、戦前にも見られたが、戦後極端に増加している。日本人移民がブラジルに定住を決め、ポルトガル語が日常生活に浸透していく中ではポルトガル語が日本語コミュニケーションに使用されたのは自然なことだったのかもしれない。ブラジル特有の動植物や事象などは、共通認識がとれていれば、ポルトガル語(またはその借用語)が日本語コミュニケーションに使用したほうが手っ取り早いからだ。

4. 考察とまとめ

ポルトガル語借用は戦後二～三十年の間エスカレートした。これは、日系ブ

ラジル人二世・三世の日本語学習離れが理由に挙げられる。ポルトガル語借用は、あくまでも日本人移民がブラジル定住の中で使用した特別な語彙なのである。二世や三世がなぜ日本人移民が使う特別な語彙を学ばなければならなかったかという点、家族である一世と、または日系コロニアで生活するためだったからであろう。しかし、一世が生活環境から離れたり同化するにつれて日本語よりポルトガル語を使用する必要性が高まり、一世と話す日本語、特に読み書きの日本語を学ぶ必要がなくなっていくのである。

ポルトガル語母語話者が日本語を学習する際に必要なことの一つにブラジル特有の事象を日本語で説明できるようになるということがある。借用の次に混用という現象段階が口頭コミュニケーションに見られるなら、外国語教育の面で参考にし、活用すべきではないだろうか。例えば、日本語学習者が日本人と会話をする場合、日本に存在しない概念や事象などについて、学習者の母語が介入することがある。その場合、必要なストラテジー、つまり語彙説明がその後必要であることさえ認識させられれば、学習者の心理的プレッシャーは軽減されるであろう。その日本語には無かった概念・事象がカタカナ表記できる借用語にまで定着できれば、隠語というある集団に通用する語彙や使用法が浸透するかもしれないし、さらに外来語として日本語に加わるかもしれないのである。久山(2000)による戦後の日本人定住者の会話による指摘と同様に、ポルトガル語借用の目的は会話をより快活に、表現豊かに行え、また心理的ギャップを縮めるためにも用いられる点も利点であろう。

これは、子弟の日本語学習離れを危惧しながらも、使用言語がシフトしていく日系コロニアにおけるコミュニケーション言語において、日本人移民が日本語を伝承しようとポルトガル語借用を教育に導入した理由だと考えられよう。

今後はTajfel and Turner(1986)が主張する社会的アイデンティティ理論による内集団意識の高揚や外集団との差異化にどのような影響を与えるかを課題にし、普遍的な借用語活用について研究を進めていきたい。ブラジルの日本語教育のみならず、翻訳法や直接法という教授法を段階的に区切り、外国語教育の効果を高めるための成果を目指したいと考えている。

¹ 前山(1996)p.211 第1図「ブラジル日本移民・日系人のストラテジーの変遷」を参照。

² 古杉(2004)によると、1961年4月に全12巻中8巻が完成し、1963年11月に頒布したとある。

³ ブラジル日本語センター(2007現在)「教材リスト一覧」『教材販売のご案内』
http://www.cblj.com.br/guide/material_j.html

⁴ 本研究で「ポルトガル語借用」と指している日本語コミュニケーションにポルトガル語をカタカナ語化、または原音のまま用いるものを「コロニア語」と日系ブラジル人は呼ぶ。

⁵ 「カフェ／カフェー／café」のいずれかで表記された語彙を見た後、読み手による読解や発話の「ゆれ」も十分考えられる

引用文献（五十音順）

- 工藤 真由美(2004)「ブラジル日系社会言語調査報告」大阪大学大学院文学研究科『大阪大学大学院文学研究科紀要』44巻2号
- 久山 恵(2000)「ブラジル日系一世の日本語におけるポルトガル語借用 —その形態と運用—」社会言語科学会編『社会言語科学』第3巻1号, 社会言語科学会, pp4-16.
- 山東 功(2003)「ブラジル日系人の日本語への視点」大阪女子大学人文社会学部人文学科日本語日本文学専攻編『女子大文学. 國文篇 : 大阪女子大學紀要』54号, 大阪女子大学人文社会学部人文学科日本語日本文学専攻, pp36-54.
- 山東 功(2005)「1950年代のブラジル日系社会と日本語」大阪大学大学院文学研究科日本語学講座『阪大日本語研究』17号, 大阪大学大学院文学研究科日本語学講座, pp.139-157.
- 日本語普及センター教科書編集委員会編集(1990)『一、二、三、にほんごで はなしまししょう 1 教師用指導書』日本語普及センター.
- 日伯文化普及会(1961a)『日本語』(6), 日伯文化普及会.
————(1961b)『日本語』(7), 日伯文化普及会.
————(1961c)『日本語』(8), 日伯文化普及会.
————(1976)『日本語』(9), 日伯文化普及会.
————(1977a)『にっぽんご』(2), 日伯文化普及会.
————(1977b)『日本語』(4), 日伯文化普及会.
————(1978a)『ニッポンゴ』(1), 日伯文化普及会.
————(1978b)『日本語』(3), 日伯文化普及会.
————(1978c)『日本語』(5), 日伯文化普及会.
- 野元 菊雄(1969)「ブラジルの日本語」筑摩書房内「言語生活」編集部(竹之内 静雄)編集『言語生活』第219号, 株式会社筑摩書房, p67-75.
- 野元 菊雄(1969)「ブラジルの日本語」筑摩書房内「言語生活」編集部(竹之内 静雄)編集『言語生活』第219号, 筑摩書房, p67-75.
- 比嘉 正範(1982)「ブラジルにおける日本人移住者の言語適応」筑波大学ラテンアメリカ特別プロジェクト研究組織編集『ラテンアメリカ研究』4号, 筑波大学ラテンアメリカ特別プロジェクト研究組織, pp153-179.
- ブラジル日本人教育普及会(1936)『日本語読本』巻一, ブラジル日本人教育普及会.
————(1937a)『日本語読本』巻二, ブラジル日本人教育普及会.
————(1937b)『日本語読本』巻三, ブラジル日本人教育普及会.
————(1937c)『日本語読本』巻四, ブラジル日本人教育普及会.
————(1937d)『日本語読本』巻五, ブラジル日本人教育普及会.
————(1937e)『日本語読本』巻六, ブラジル日本人教育普及会.
————(1937f)『日本語読本』巻七, ブラジル日本人教育普及会.
————(1937g)『日本語読本』巻八, ブラジル日本人教育普及会.
- 前山 隆(1996)『エスニシティとブラジル日系人 —文化人類学的研究』御茶の

水書房.

横川 實(1995)「戦後の対伯移住」日本ブラジル交流史編集委員会『日本ブラジル交流史 ー日伯関係 100年の回顧と展望ー』, 日本ブラジル修好 100周年記念事業組織委員会/社団法人 日本ブラジル中央協会, pp140-147.

Tajfrel H. and J. C. Turner(1986) “The social identity theory of intergroup behavior” In Psychology of intergroup relations, ed. S. Worchel and W. G. Austin, pp.7-24, Chicago: Nelson-Hall Publishers.

引用URL (五十音順)

国際交流基金(2007 現在)「文化交流基礎情報 ブラジル(Brazil)」『事業案内 その他の事業』

http://www.jpjf.go.jp/j/others_j/basic/brazil/1-7-8.html

古杉 征己(2004~2007 現在)「教科書 時代を映して変遷(8) = 科書時代を映して変遷 = 『日本語』 8巻 61年完成 = 翻訳して当局の検定受ける」

<http://www.nikkeishimbun.com.br/040424-62colonia.html>

ブラジル日本語センター(2007 現在)「教材リスト一覧」『教材販売のご案内』

http://www.cblj.com.br/guide/material_j.html

表 1 「戦後教科書の巻別出現語彙頻度表」

<巻別出現回数>

語彙: 注(総出現回数)……同数の場合は五十音別

< 4 冊 >

カフェザール: cafezal コーヒー園(5), パスト: pasto 牧場(5), マモン: mamão
パパイヤ(4)

< 3 冊 >

オンサ: onca ジャガー、豹(22), オニブス: onibus バス(7), カフェー: café
コーヒー(4), サーラ: sala 居間(4), ミーリョ: milho とうもろこし(3)

< 2 冊 >

インジオ: índio 原住民・インディアン(23), マット: mato 林(10), ダリヤ:
dalia ダリア(9), フェイラ: feira 市、朝市(8), マンジョカ: mandioca キャツ
サバ芋; タピオカの元(8), カッペーラ: capela(小さな)教会(7), トマテ: tomate
トマト(6), エストラダ: estrada 街道、道路(3), アンタ: anta 獾(2), カミ
ニョン: caminhonete 小型トラック(2), コロニア: colonia 入植地(2), シネマ:
cinema 映画(2), タマンコ: tamanco 木靴(2), ナタール: natal 誕生日(2), パ
パガイオ: papagaio 鳥の名前「オウム」(2), フェイジョン: feijão 豆(2), ブ
ルーザ: blusa ブラウス(2), レーデ: rede ハンモック(2)

< 1 冊 >

ジャンガダ: jangada いかだ舟(8), バンデイラ: bandeira 奥地探検隊(8), ト

ラコーマ: tracoma トラコーマ結膜炎(7), パイネイラ: paineira 綿の木 (和名 = トックリノキ); ブラジル桜(7), クルゼイロ: cruzeiro ブラジルの貨幣単位(4), ジャボ: 鬼 (= ジャボ) (4), アスデ: açude ダム、堰(3), エリコニア: heliconius 蝶の名前(3), カナリヤ: canaria 鳥の名前「カナリア、金糸雀 (学名: Serinus canaria)」(3), サッコーラ: sacola 手提げ袋(3), セスタ: cesta かご(3), パパイノエル: papai noel サンタクロース(3), アバカテ: abacate アボカド(2), アラマンダ: allamanda キョウチクトウ科アラマンダ属、非耐寒性低木「アリアケカズラ」(2), カスカベル: cascavel 蛇の名前「ガラガラヘビ」(2), カリコーレ: callicore 蝶の名前(2), ジボイア: jibóia 蛇の名前「ボアコンストリクター」(2), ジュッタ: juta 黄麻(2), スクリー: sucuri 蛇の名前「オオアナコンダ」(2), セントロ・アバンテ: centro avante センターフォワード<サッカー>(2), バルベイロ: barbeiro シャーガス病をうつす昆虫の名前(2), ピメンタ・ド・レイノ: pimenta do reino 王国の唐辛子(2), ピラニヤ: piranha 魚の名前「ピラニア」(2), ブーロ: burro ロバ(2), プラノ=ピロット: plano piloto 市立広場(2), プレジデンテ: presidente 大統領(2), プレゼンテ: presente プレゼント(2), ブロッシェ: broche ブローチ(2), ポント・ジレイタ: ponta direita セカンドトップ<サッカー>(2), マメルッコ: mameluco 白人と原住民の混血(2), メИА・エスケルダ: meia esquerda サイドハーフ左<サッカー>(2), メИА・ジレイタ: meia-direita ウィングフォワード右<サッカー>(2), ラッタ: ratta 缶(2), アカラ・ジスコ: acara disco 魚の名前(1), アカラ・バンディラ: acara bandeira 魚の名前(1), アグリア: agrias 蝶の名前(1), アバカシ: abacaxi パイナップル(1), アマレロン: amarelão 十二指腸虫病(1), アmendoin: amendoim 落花生(1), ウルツ: urutu 毒蛇の名前(1), エンシャダ: enxada 草刈り鋏(1), エンシャドン: enxadão 根掘り鋏(1), ガイオラ: gaiola 鳥かご(1), カザキニョ: casaquinho 小さな上着(1), カジュ: caju ウルシ科の果物の名前(1), カスタニヤ: Castanha ブラジルのナッツの名前(1), カフェ: café コーヒー(1), カボクロ: caboclo インジオ(原住民)と白人の混血(1), カマ: cama ベッド(1), カラー: cara 魚の名前(1), カルトン: Cartao カード(1), ガンソ: ganso ガチョウ(1), グアラナー: guarana ムクロジ科ガラナ属のつる植物の名前(1), クラボ: cravo 花の名前(1), グランデ=ブラジレイロ: grande brasileiro ベンジャミン・コンスタンテの別称 (=偉大なブラジル人) (1), グランデ・アレア: grande área ピッチ<サッカー>(1), クルケレー: cruquere 害虫の名前(1), グルッポ: grupo グループ(1), グルッポ=エスコラー: grupo escolar 小学校(1), ケイジョ: queijo チーズ(1), コバ: cova 埋葬用の穴(1), コラル: coral 赤と黒の段だら模様のある蛇の名前(1), サウデ: saude (くしゃみをした人に対して)「お大事に」(1), サウバ: sauva 害虫の名前「葉切蟻」(1), サボン: sabão 石鹸(1), ジア・サント: dia Santo サントの日(1), ジアンテイロ: dianteiro フォワード<サッカー>(1), シーカラ: xícara 一口大の小さなコップ(1), シスネ: cisne 鳥の名前「白鳥」(1), ジャボチカーバ: jaboticaba 果物の名前(1), ジャラクサー: 毒蛇の名前(1), ジャララカ: Jararaca 毒蛇の名前(1), ジャン

ガデイロ : jangadeiro いかだ舟の持ち主(1) , スイナン : ブラジル原産の (鳥の嘴形の真紅の穂をなして咲く) 花の名前(1) , スルククー : surukuku アマゾンの毒蛇の名前(1) , セントロ・メジオ : centro-médio セントラルミッドフィールダー <サッカー>(1) , ダリア : dalia 植物の名前「ダリア」(1) , テアトロ＝ムニシパル : teatro municipal 市立劇場(1) , テアトロ・ムニシパル : teatro municipal 市立劇場(1) , トラッサ : traça 害虫の名前(1) , パー : pá シャベル、スコップ(1) , パパイ : papai お父さん(1) , パピリオ : papilio 蝶の名前(1) , モルフオ : morpho 蝶の名前(1) , バランサ : balança ブランコ; 秤(1) , パルマ : palma 花の名前(1) , バンデイランテ : bandeirante 奥地探検隊員(1) , ピアバ : piaba 魚の名前(1) , ピカパウ : pica-pau 鳥の名前「きつつき」(1) , ファルタ : falta ファール<サッカー>(1) , フォイセ : foice 長柄の鎌(1) , ファルマシア : farmácia 薬局(1) , プラネタリオ : planetário プラネタリウム(1) , ブロッカ : Broca 虫の名前「木食い虫、米虫」(1) , ペイシェ : peixe 魚(1) , ペケナ・アレア : pequena área P K エリア<サッカー>(1) , ペナルチ : pênalti ペナルティ<サッカー>(1) , ボーロ : bolo ケーキ(1) , ボネッカ : boneca 人形(1) , ポルコ : porco 豚(1) , ポンタ・エスケルダ : ponta esquerda ウイングフォワード左<サッカー>(1) , マカコ : macaco 猿(1) , マカロン : macarrão マカロニ(1) , マシャド : machado 斧(1) , ママイ : mamãe お母さん(1) , マンガ : manga マンゴー(1) , マンティガ : manteiga バター(1) , マンドリル : mandrill 猿の名前(1) , ミサ : missa カトリック教の礼拝式(1) , メーザ : mesa 机(1) , メジオ・エスケルド : médio-esquerdo ミッドフィルダー左<サッカー>(1) , メジオ・ジレイト : médio-direito ミッドフィルダー右<サッカー>(1) , メルカード : mercado 市場(1) , ラガルタ : ragarta いもむし(1) , ラパヅラ : rapadura サトウキビ(1) , ラピス : lápis 鉛筆(1) , リリオ : lirio 植物の名前「西洋ゆり」(1) , レイテ : leite ミルク(1) , レストランテ : restaurante レストラン(1)

謝辞

本研究の情報確認においてブラジル松柏学園・川村万倫子氏、サンパウロ大学・森幸一氏に貴重なご助言をいただいた。ここに記して感謝の意を表する。